

履修証明プログラム「多様化／複雑化する学校・学級運営のための基本講座」

開催要項・事業計画

プログラム代表者	所 属 地域基盤研究機構 職名・氏名 教授・上水流 久彦			
プログラムの目的及び内容等 1) 目的 2) 内容 3) 修了後に身につく能力 4) 証明を行う社会的な意義	<p>1) 目的 学校現場で求められる多様な児童・生徒に関する基礎的な知識や技法を包括的に提供することを通じて教職員の能力向上を図る。</p> <p>2) 内容 近年の教育政策と学校、学校で求められる人権やセクシャリティ、ジェンダー、DEI への理解に加えて、外国ルーツの児童・生徒、発達障害、言語障害児（発達障害）、知的発達症、性的少数者、ヤングケアラー、引きこもり・不登校、虐待、吃音、非行問題等について講義やグループワークを行う。</p> <p>3) 修了後に身につく能力 多様な背景をもった児童・生徒への基本的な理解と対応力</p> <p>4) 証明を行う社会的な意義 現在、学校現場では多様な背景を持つ児童・生徒へ適切に対応を行うことが強く望まれている。最終的には専門家による対応が必要となるものの、多様な背景を持つ児童・生徒に関する基礎的な知識や技法を身につけておくことは、専門家や同僚とチームとして対応するうえでも、適切な学級運営を行ううえでも不可欠である。</p>			
募集定員	30 名 ※最小開講人数：8 名			
受講料	31,800 円			
受講期間	2026 年 7 月 20 日～2026 年 12 月 27 日			
受講方法	原則、オンデマンド グループワーク編のみ対面 日時 2026 年 10 月 17 日（土） 場所 県立広島大学広島キャンパス			
総時間数	67 時間			
修了要件	60 時間（総時間数の 9 割以上）の受講と各授業の確認テスト合計点の 6 割以上			
プログラム内容				
公開講座又は授業科目	授業形態	全時間数	開講部局	担当教員（所属）
I 基本編		14		
イントロダクション	オンデマンド	2		上水流久彦（地域基盤研究機構）
教育政策と学校Ⅰ	オンデマンド	2		藤井宣彰（生物資源科学部）
教育政策と学校Ⅱ	オンデマンド	2		藤井宣彰（生物資源科学部）
DEI と学校Ⅰ	オンデマンド	3		岡田高嘉（大学教育実践センター）
DEI と学校Ⅱ	オンデマンド	3		岡田高嘉（大学教育実践センター）
広島県教育委員会の取組	オンデマンド	2		担当者・広島県教育委員会

II 現場編		47		
(1) 多様な背景を持つ児童・生徒の理解		28		
外国ルーツの児童・生徒	オンデマンド	2		植村広美（地域創生学部）
発達障害	オンデマンド	2		助川文子（保健福祉学部）
言語障害児（発達障害）	オンデマンド	2		堀江真由美（保健福祉学部）
知的発達症	オンデマンド	2		米倉裕希子（保健福祉学部）
セクシャリティ	オンデマンド	2		松高由佳（大学教育実践センター）
学校の中のジェンダー	オンデマンド	2		上水流久彦（地域基盤研究機構）
ヤングケアラー	オンデマンド	2		楊慧敏（保健福祉学部）
非行問題とその理解	オンデマンド	2		担当者・広島法務少年支援センター
ひきこもり	オンデマンド	2		金子努（保健福祉学部）
不登校	オンデマンド	2		梶原豪人（保健福祉学部）
子ども虐待	オンデマンド	2		田中聡子（保健福祉学部）
吃音	オンデマンド	2		吉澤健太郎（保健福祉学部）
依存症	オンデマンド	2		朝比奈寛正（保健福祉学部）
学校生活における食物アレルギー対応	オンデマンド	2		辻愛（地域創生学部）
(2) 学校・学級経営の技能		19		
やさしい日本語	オンデマンド	3		中石ゆうこ（大学教育実践センター）
学校の中の多文化共生	オンデマンド	1		植村広美（地域創生学部）
発達障害への向き合い方	オンデマンド	1		助川文子（保健福祉学部）
言語障害児（発達障害）への向き合い方	オンデマンド	1		堀江真由美（保健福祉学部）
知的発達症のある児童・生徒への向き合い方	オンデマンド	1		米倉裕希子（保健福祉学部）
ヤングケアラーへの向き合い方	オンデマンド	1		楊慧敏（保健福祉学部）
性的マイノリティの児童・生徒への向き合い方	オンデマンド	1		松高由佳（大学教育実践センター）
カウンセリングの技法	オンデマンド	2		石原克秀（大学教育実践センター）
モンスターペアレント対応	オンデマンド	2		勝見吉彰（保健福祉学部）
子ども虐待	オンデマンド	1		田中聡子（保健福祉学部）
ひきこもり	オンデマンド	2		金子努（保健福祉学部）

不登校	オンデマンド	1		梶原豪人（保健福祉学部）
吃音	オンデマンド	1		吉澤健太郎（保健福祉学部）
依存への対応　－非専門職が行える実践－	オンデマンド	1		朝比奈寛正（保健福祉学部）
Ⅲ グループワーク編		6		
悩みを共有する	対面	2		上水流久彦（地域基盤研究機構）
悩みを緩ませる	対面	2		上水流久彦（地域基盤研究機構）・参加可能教員
やさしい日本語相談	対面	2		中石ゆうこ（大学教育実践センター）